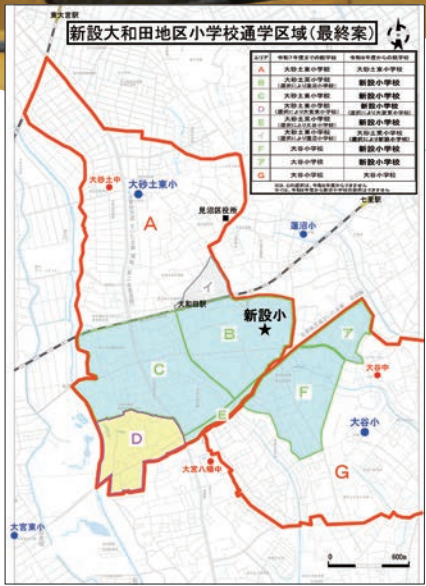




子どもの最善の利益は守られているか

こども家庭庁が設置され、こども基本法の施行から2年目。
とば市議は「子どもの最善の利益」を求めて代表質問に立ちました。



新設大和田小学校学区の決定は子どもと保護者の声を聞いて

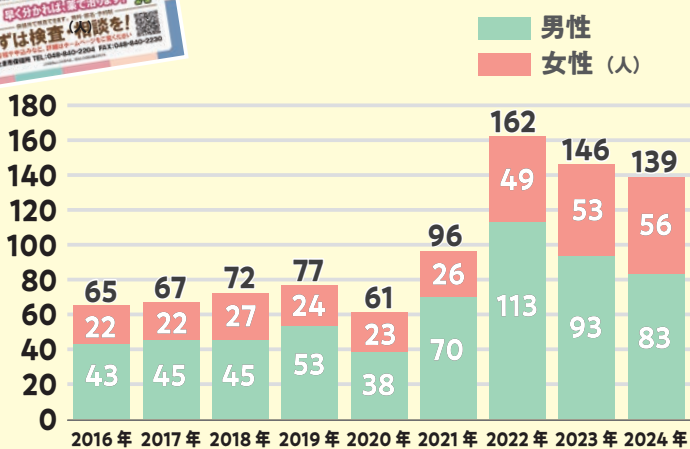
昨年11月発表の新設大和田地区小学校の通学区 最終案には、多くの保護者の懸念があります。高学年でも突然転校を迫られ、中には学童保育をやめなければならない子どももいます。保護者、市民団体等の「子どもの声をよく聞いて」「高学年は選択制に」を求める署名は1163筆届けられましたが、教育委員会は一顧だにしません。とば市議は「こども基本法に基づき、子どもと保護者の声を聞くべき」と強く訴えました。

ひまわり学園 保護者の要求実現へ前進

とば市議は総合療育センターひまわり学園の保護者と何度も懇談し、その声を届けてきました。療育時間や看護師配置等前進がありましたが、もっとも求められているのは「希望するすべての子どもに通園バスを!」ということです。バスに看護師の添乗がないため、医療ケア児や重い障害のある子どもたちは保護者が送迎しています。保護者は「障害児を育てる環境は完全に取り残されている」と指摘し、清水市長は「よりよい環境づくりにしっかりと取り組む」と答えました。



さいたま市の梅毒感染報告数



予算委員会で奮闘

若者を性感染症から守るために

梅毒の急拡大は本市でも深刻です。とば市議は積極的な対策を求め、保健所は匿名・無料の梅毒即日検査を実施しました。来年度、市の出前講座に「STIって何?～他人事ではない性感染症の基礎知識～」と題し、中学生以上を対象にした広報を予定しています。とば市議は「学校での包括的性教育に積極的にとりくむべき」と求めました。

日本は核兵器禁止条約への署名と参加を

2025年8月6日に被爆地広島で開催される平和記念式典に、さいたま市の子どもの代表を派遣することになりました。本市の平和事業において大きな前進です。日本共産党さいたま市議団は核兵器の廃絶と世界の恒久平和に貢献するとりくみを求めています。とば市議は「核保有国と一緒に包囲される側に立っている日本政府を全国の自治体が包囲することが必要だ」と意見書提出を求めました。

民生委員が足りない

本市の民生委員定数1469人は満たされており、88地区で空白です。昨年行われた高齢者世帯への生活実態調査は民生委員が訪問し調査するものですが、民生委員不足が調査の進行を妨げています。とば市議は民生委員の役割が広がりすぎていることを指摘し「本来の支援活動に集中できる環境整備を」と求めました。

大谷中通りドラッグストア前 信号機設置を早急に

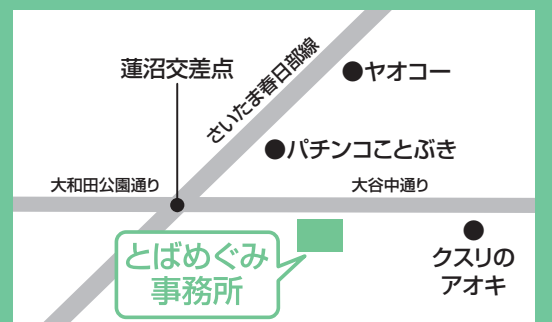


再三署名を提出し信号機の設置を求めてきた場所で、死亡事故が起きました。とば市議はすぐに地元住民と共に県警と懇談し、早急な信号機設置とその間の安全対策を求め、要望書を提出しました。

議会報告 2025年2月議会

日本共産党 さいたま市議会議員

とばめぐみ



2025年度予算は、さいたま市史上2番目に多い1兆1663億円となりました。そのなかで、物価高騰対策のための予算額は約89億円、全体予算の0.8%です。市民が本当に必要としているのは、くらし、福祉、子育て、教育、地域経済、災害対策の充実ですが、一方で大型公共事業はこんなに増えました。私たちが納めた税金の使い方、みなさんはどう思いますか？

こんなに増えた 大規模公共事業

大宮駅グランドセントラルステーション化構想

大宮駅GCS化構想は、大宮駅の駅前広場を中心とした交通基盤整備、まちづくり、駅機能の高度化を三位一体ですすめる構想。いくらかかるのか、いつまでかかるのか分からない、天文学的な大事業。

さいたま市役所新庁舎建設

浦和区からさいたま新都心に移転が決定した、さいたま市役所。当初は220億円の予算だったが、今は**400億円以上**に。さいたま新都心駅からのデッキや、隣に建設される民間企業が利用する建物も予算に含まれており、予算を削減するどころか膨大になっている。

次世代型スポーツ施設（仮）建設

5000人収容のミニアリーナ建設。当初市民に示された予算は52億円だったが、今や**2.5倍の131億円**に。さらに軟弱地盤の改良などのコスト増が予想される。参画意欲のある企業からも「1万人規模でなければ採算は取れない」と指摘されている。

武蔵浦和学園義務教育学校建設

整備基本計画（133億円）・基本設計（183億円）・補正予算で**220億円**。それでも建設事業契約は入札不調。

約245億円分の 予算組み替えを 提案



予算組み替え提案を提出する党市議団

（仮称） 農業及び食の流通・観光産業拠点建設

事業費**232億円**。と畜場と道の駅をあわせた施設はさいたまスーパーアリーナ4つ分。地盤改良や資材高騰で大きく費用は増える見込みだがいまだ不明。道の駅の収益が過大に見込まれており、自然環境破壊の懸念も大きい。

地下鉄7号線延伸事業

事業費**1520億円以上**。市も認める「巨額のプロジェクト」。埼玉高速鉄道浦和美園駅から岩槻駅まで7km。建設の見通しは不明。中間駅のまちづくり（1万人規模）の費用も不明。コミュニティバスやデマンド交通など身近な公共交通こそ優先課題。

浦和駅西口再開発事業・市民会館うらわ

総事業費**709億円**のうち、公的資金は**448億円**。27階建てマンションは、ひと部屋5億円の部屋もあるとのこと。儲かるのは企業ばかり？市民会館うらわの建設費も、**167億円**と巨額に。

予算組み替えで 実現しよう！

- 介護保険料の引き下げ **25億円**
- 給食費（副食費）無償化 **27億6000万円**
- 学校給食費無償化 **56億円**
- 小規模事業者へ支援金を **20億円**

財源はどうするの？

- 各種基金の一部取り崩し **160億円**
- 地下鉄7号線整備基金積立の中止 **7億円**
- 義務教育学校建設の見直し **46億円**
- 大阪・関西万博自治体催事事業 **5101万円**



ほかにもこんなムダな事業が…

人形と盆栽を展示 大阪・関西万博に5日間で5101万円

万博に5日の出展で5101万円の予算を計上。1日約1000万円の予算をかけて、人形と盆栽を展示する予定です。海外パビリオンの出展とりやめが相次ぎ、「184日間の期間を地方自治体の数珠繋ぎ出展で乗り切る」という国からの圧力に屈したかたちです。さらに、「さいたま市の香り」という謎の事業に360万円の予算をつけますが。活用方法も決められていませんでした。たけこし連市議の予算委員会の質疑で、市も「この予算は高いと思う」と正直に答弁しました。

「さいたま市みんなのアプリ」物価高騰対策になったのか？

国からの物価高騰対策補正予算11.8億円を、「さいたま市みんなのアプリ」のポイント還元で全額活用したさいたま市。通常の3%還元を33%還元にするために、この予算を投じました。同キャンペーン期間は4月27日まででしたが、3月2日に前倒しで終了。

早期終了の要因となったのが「市民以外も使えます」と宣伝した、市の公式サイトや家電量販店の広告でした。この事業は、物価高騰対策になったのか。もっと市民のために使えたはずです。